

温水洗浄便座の使用とトイレペーパーの使用に関する実態調査結果

2016年12月22日
一般社団法人日本レストルーム工業会

【調査概要】

●調査目的

温水洗浄便座は昭和42年(1967年)に国産製品として誕生してから約49年、二人以上世帯普及率は81%を超え、1世帯に2台設置されることも多くなった。しかし、トイレというプライベートな空間で使用される製品のため実際の使用実態はあまり報告されていない。このたび、温水洗浄便座の使用者・不使用者によるトイレペーパーの使い方の違いについてWEB調査を行った。

●調査内容

1. 温水洗浄便座の設置状況と使用頻度
2. トイレペーパーの使用状況

●調査方法 WEBモニターによるアンケート調査

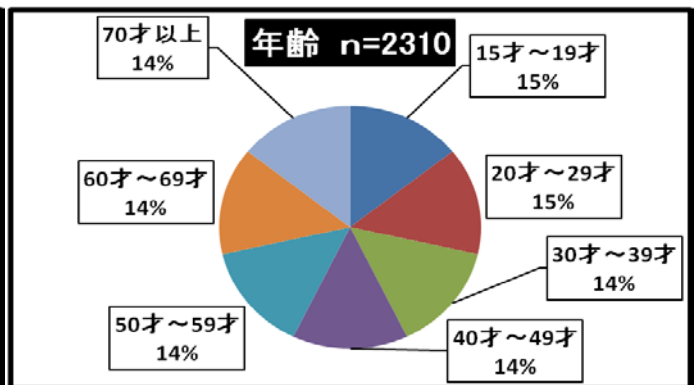
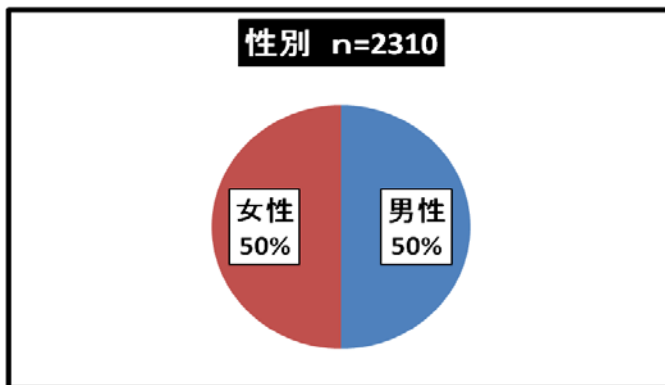
●調査対象者 全国の15歳～88歳の男性・女性

●実施時期 平成28年7月12日～平成28年7月14日

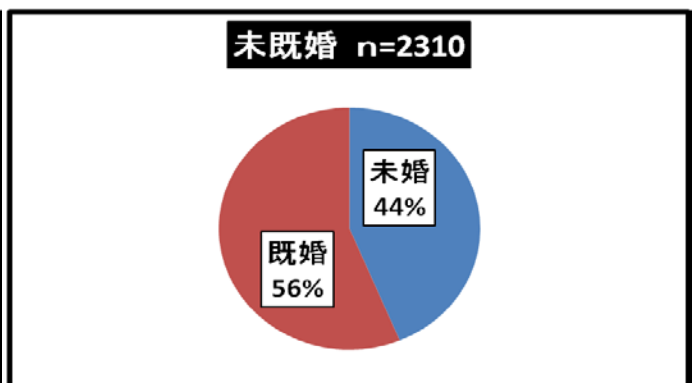
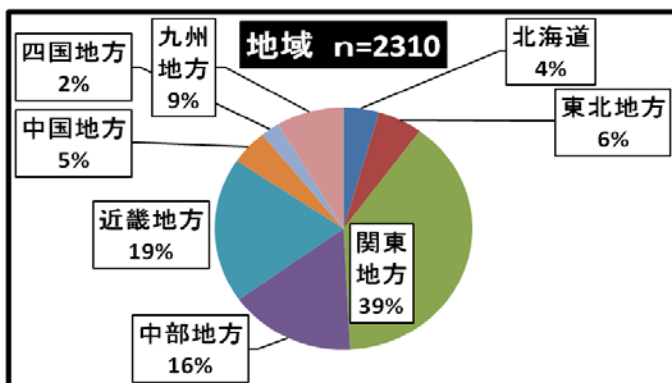
●回収サンプル数 男性1,155人 女性1,155人

【調査対象者属性】

(1)性別・年齢

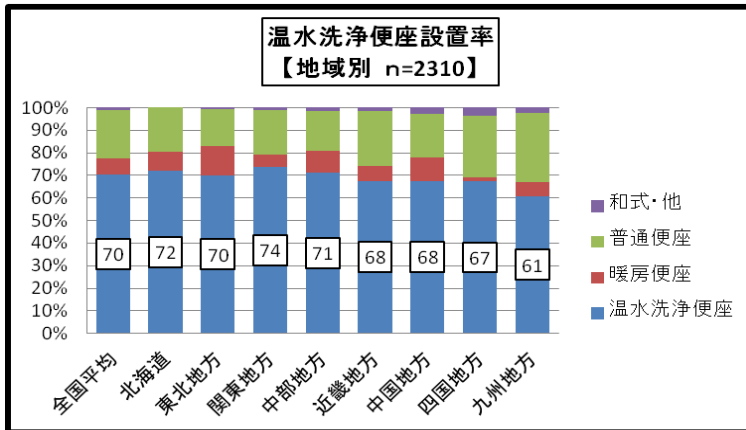


(2)地域・未既婚



1. 温水洗浄便座の設置状況と使用頻度

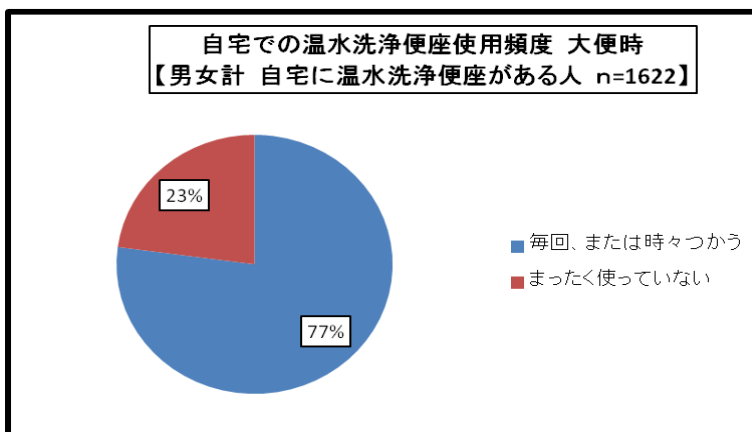
1-1. 温水洗浄便座の設置状況



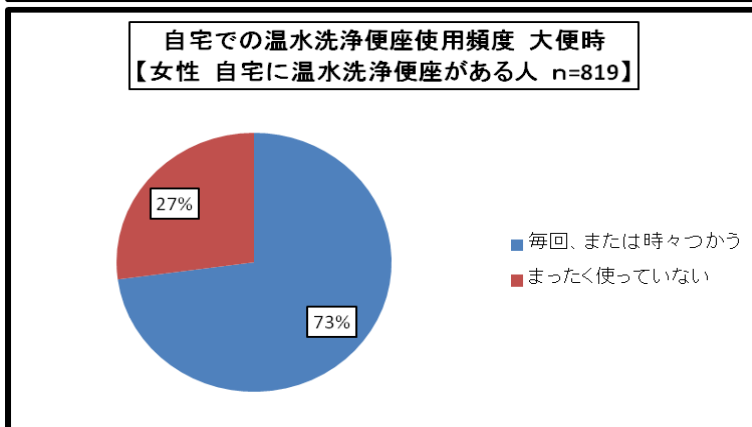
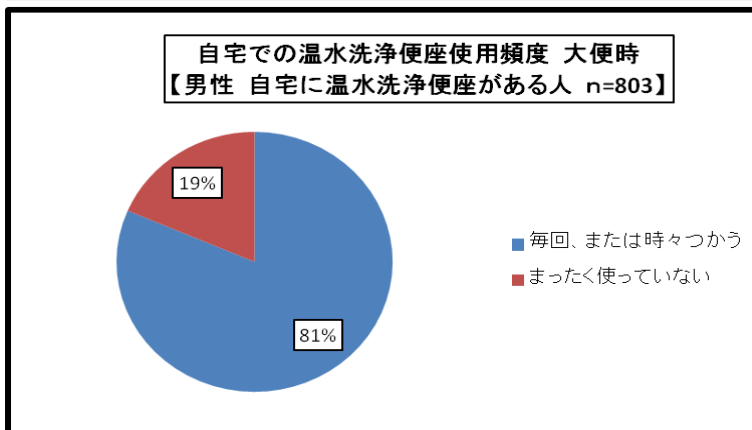
全国平均に対し、東日本がやや高く、西日本がやや低い。
寒冷地域の設置率が高く、温暖地域が低い傾向にある。

※本調査は単身世帯を含む設置率。

1-2. 自宅での温水洗浄便座使用頻度

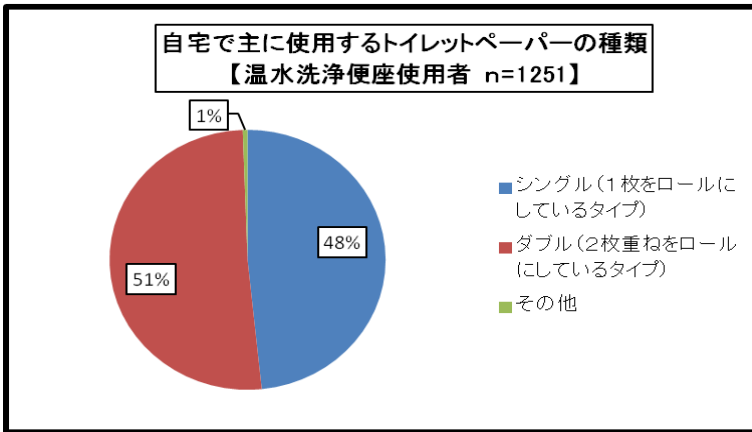


8割弱の人が大便時に温水洗浄便座を使用、男女別に見ると男性は8割強、女性は7割強とやや男性の使用頻度が高い。

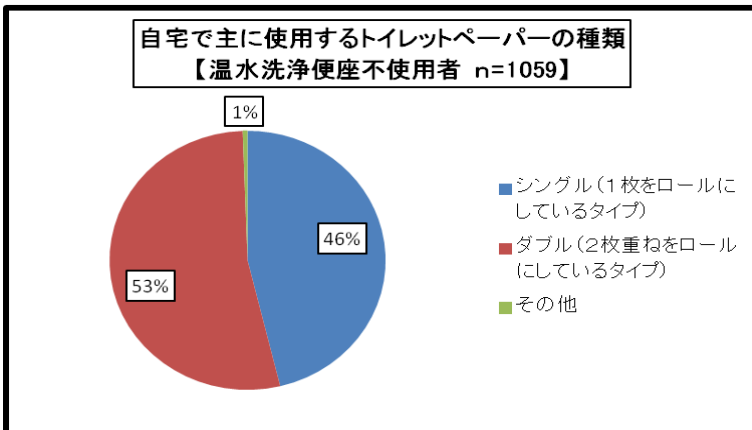


2. トイレトペーパーの使用状況

2-1. 自宅で主に使用するトイレトペーパーの種類(温水洗浄便座使用者・不使用者による違い)



自宅で主に使用するトイレトペーパーの種類は、温水洗浄便座使用者・不使用者にかかわらず、シングル・ダブルほぼ半々で大きな差異は見られなかった。

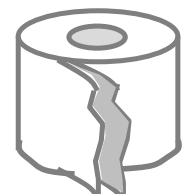


<参考> トイレトペーパーの種類

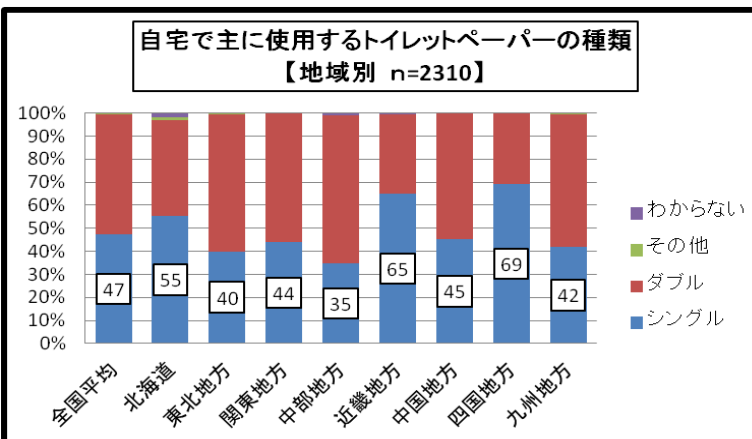
シングル



ダブル

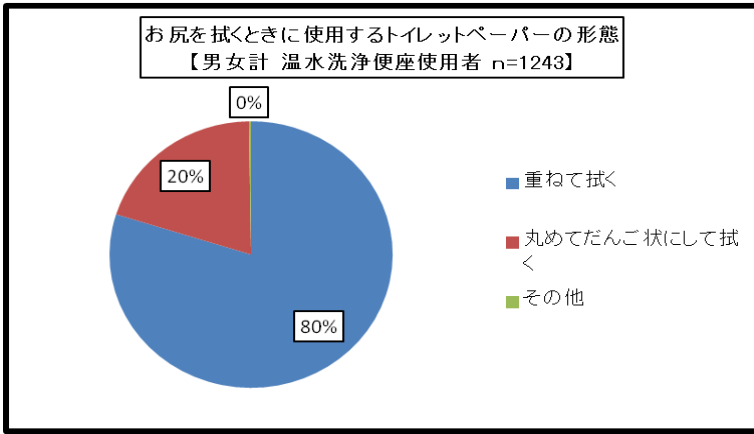


2-2. 自宅で主に使用するトイレトペーパーの種類(地域による違い)

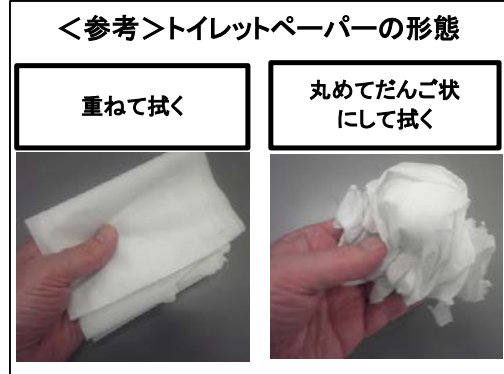
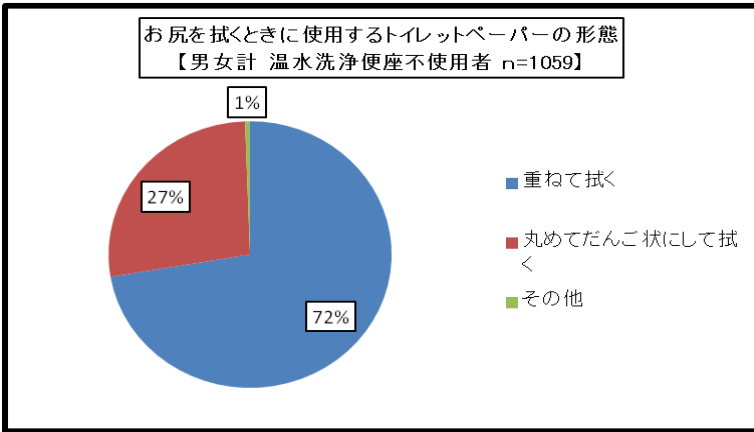


一方、地域別に見ると、シングルの使用割合が高いのは四国・近畿地方で、中部・東北・九州地方ではダブルの割合が高いなど、地域による差異が見られた。

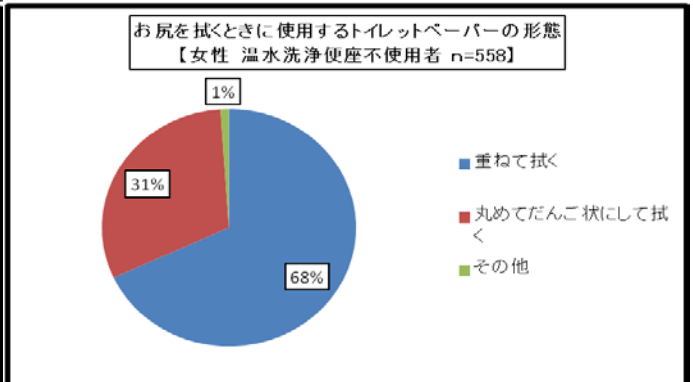
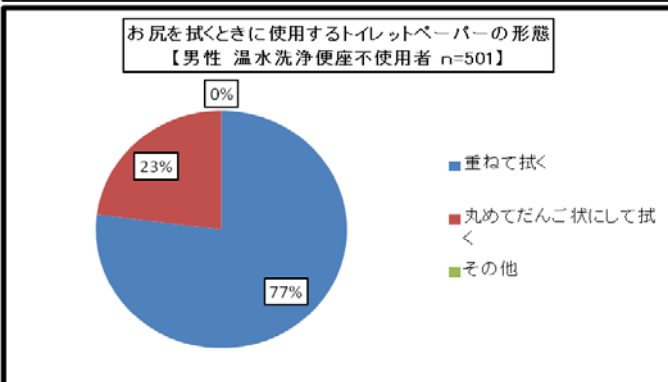
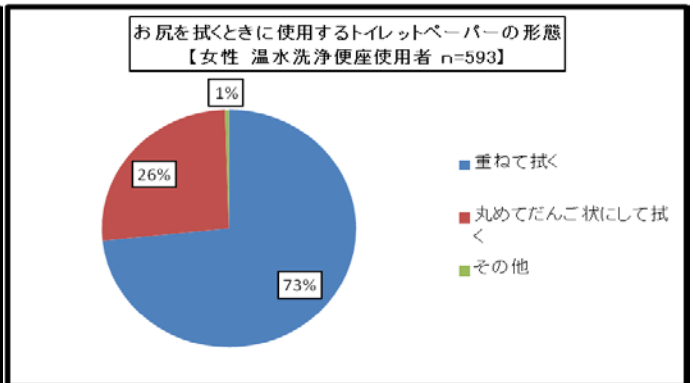
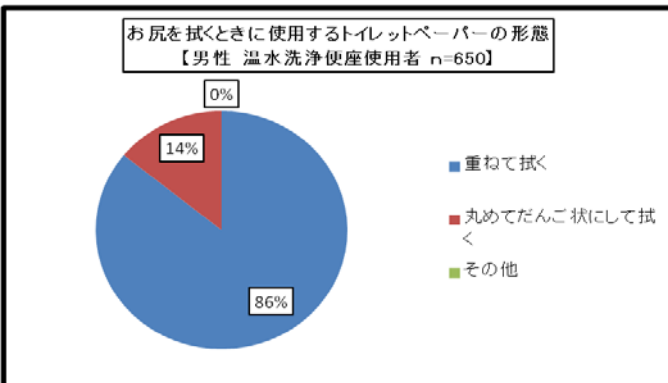
2-3. お尻を拭くときに使用するトイレトペーパーの形態(温水洗浄便座使用者・不使用者による違い)



お尻を拭くときに使用するトイレトペーパーの使用形態は、温水洗浄便座使用者で重ねて拭く80%・丸めて拭く20%、不使用者では重ねて拭く72%・丸めて拭く27%と、いずれの場合も「重ねて拭く」派が主流。少数派ではあるものの、「丸めて拭く」派は温水洗浄便座を使用していない人の方が若干多い。

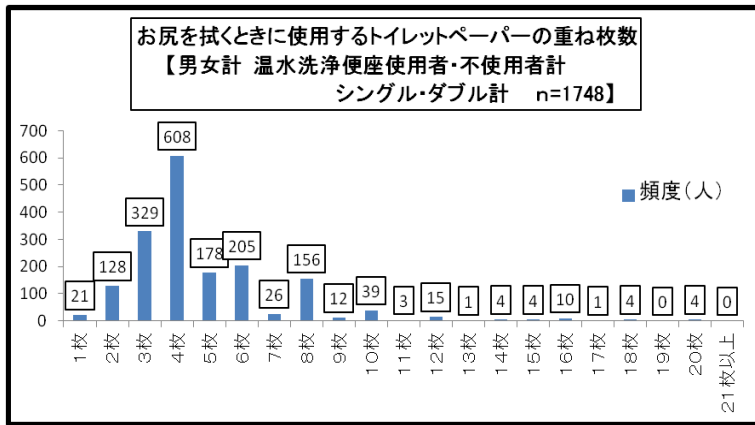


2-4. お尻を拭くときに使用するトイレトペーパーの形態(男性・女性による違い)



男女で比較すると、温水洗浄便座使用者・不使用者にかかわらず、男性のほうが「重ねて拭く」派が多い。

2-5. お尻を拭くときに使用するトイレトペーパーの重ね枚数とその長さ



「重ねて拭く」と回答した人による調査では、4枚重ね(4つ折り)が最も多く、温水洗浄便座使用者・不使用者でも、トイレトペーパーのシングル・ダブルでも差は無く同様の結果となった。
また、1回あたりに取るトイレトペーパーの長さの平均は0.8m。

